

【モンシロチョウのかんさつ】

みなさん、お元気ですか？ こまよせ小学校の先生たちは、「学校が始まったら、みんなと楽しく勉強をしたいな」と、いろいろ準備や実験をしています。その中で、今日は、理科のモンシロチョウのかんさつについてしょうかいしますね。

【4月21日】

畑をたがやし、うねを作り、
コーディネーターの山口さんに教えて
もらいながらキャベツの苗を植えました。

モンシロチョウの卵、つくといいなあ♪



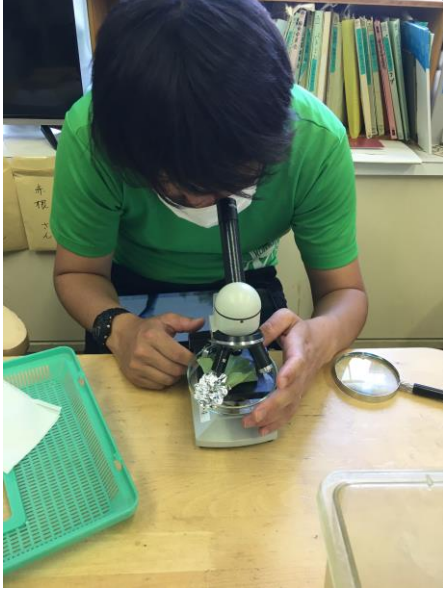
【5月12日】

「ああ、あった！！」かんさつを続けていたある日、卵があることに気づきました。
小さくて、黄色いたくさんの卵を発見して、大喜び。大きさを測ってみると1mm！！「小さいね～。教科書の写真とそっくりだね。」そんな話をしていると、みんなにもっと大きく見せてあげたくなくて……。



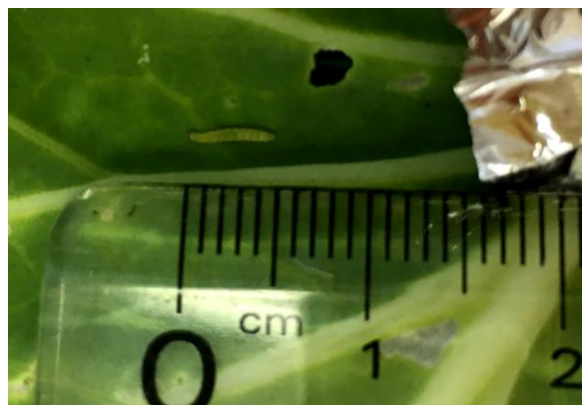
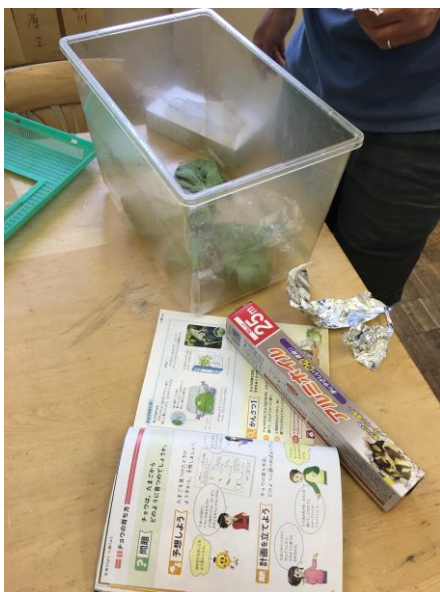
【5月13日】

次の日、学校が始まった時に授業でどのようにかんさつをしようかと考えました。まずは、定番の虫めがねから。「大きく見えるけど、もっとくつきり、もようまで見たいなあ。」理科室から、けんびきょうを持ってきました。どれどれ。なかなか見えません。倍率を変えて、光の当たり具合を変えて、ついに「見えた！！」

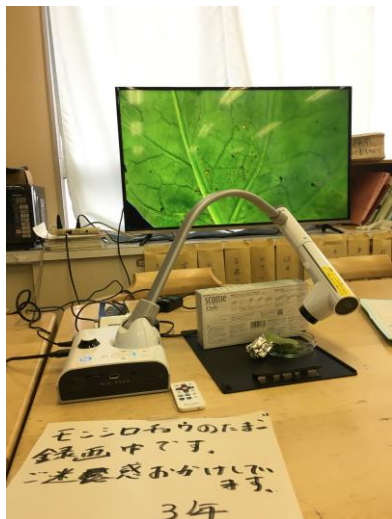


まるで、小さいトウモロコシみたいなもようです。
学校が始まって、まだ卵がついていれば、みんなで見ようね！！

ほかのキャベツの葉っぱには、もう幼虫が生まれ、細くてかわいい青虫がいました。
葉っぱがかわかないようにぬれたティッシュでくきを包み、虫かごで育てることにしました。



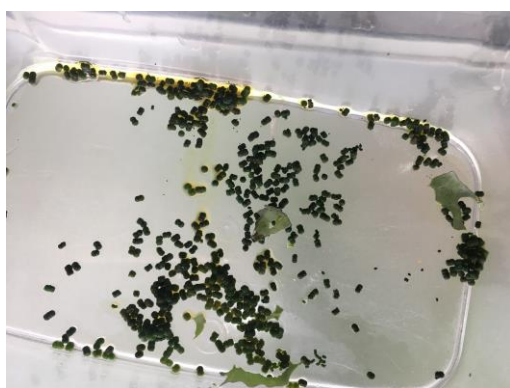
小さな卵と、細くてかわいい青虫。そうなってくると、「卵から幼虫が出てくる瞬間を見たい、見せてあげたい!」。ビデオカメラやみえるモン(拡大器)で、決定的瞬間をとらえられないかと、試行錯誤。とっても良い方法を見つけたので、また、学校が再開した際には、クラスで挑戦する予定です。



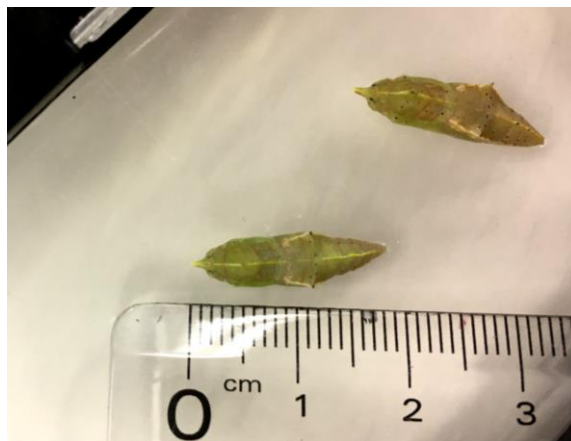
【5月16日】

週末は、お家に持って帰り、お世話をしました。キャベツの葉っぱをモリモリ食べて、本当に絵本の「はらぺこあおむし」のように太っちゃよになってきました。うんちも1日でこんなに。写真を撮っていると、ぐうぜんにも、青虫くんがうんちをしている瞬間が写っていました！（青虫くん、はずかしいところ、ごめんね。）

次の日、ずっと食いしん坊で、葉っぱの上でしか生活していなかった青虫が、お散歩をしてカゴから脱走していました。あとで分かったことですが、たくさん食べて大きくなった青虫は、次の成長のための場所を探していたのだと……。

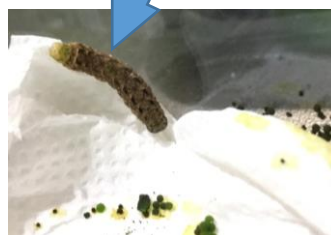


脱走した日の夜、ついに、青虫たちがさなぎになりかけていました。
2cmほどのさなぎは、時々ピクッと動きます。緑だったさなぎは、翌朝茶色になってきました。
さなぎの中では、今、モンシロチョウになるための体を作っているのです。



【5月21日】

次々と、さなぎになっていきました。中には、モンシロチョウではない青虫もいたようで、角の方でまゆを作っていたり、茶色い幼虫に変化したり。(蛾かな。青虫の状態で見分けるのは難しいですね。)



一番始めにさなぎになった子は、5日経っていますが、まだ羽化していません。先生たちは、いつだろう、いつだろうとワクワクしながらかんさつをしています。

卵、ようちゅう、さなぎ、そして、きれいなモンシロチョウになるまでの成長を、みんなとワクワクドキドキしながらかんさつできることを楽しみにしています。